

<ニコニコ委員会>

安藤志子委員長

大村東RC 幸島宏邦様→「お世話になります」。川崎RC白井勇様→「いつもお世話になります。よろしくお願ひします」。渡邊会長→「ロータリー財団奨学生の宮川さん、本日は卓話ありがとうございます」。井上幹事→「宮川様、卓話よろしくお願ひいたします」。箕輪会員→「本日、クラブ奉仕委員長会議、メモワールプラザまで行ってまいります。ご苦労様です」。玉井会員→「宮川君、卓話よろしくお願ひします」。大矢会員→「小春日和です」。以下、感謝を込めてニコニコへ。寺尾会員、結城会員、植松会員、小塚会員、碓井会員、佐々木会員、安藤登会員、安倍会員、鴨志田敏彦会員、白井会員、田内会員、鈴木会員、岡村会員、岡本会員、嶋会員、井上(久)会員、服部会員、大沼会員、内藤会員、安藤亨会員、川口会員、安藤志子会員。

<出席委員会報告>

田内委員長

	会員	出席	欠席	メイク	出席率
第1377回	47	32	15		68.09%
第1376回	47	34	13	10	93.12%

<ロータリー財団報告>

鴨志田敏彦委員

結城会員より、「家内の誕生日に花をありがとうございました」ということで、いただきました。

<ニコニコ・財団・米山委員会報告>

	今回		累計	
ニコニコ	29件	31,000円	578件	655,000円
財団	1件	10,000円	22件	218,000円
米山	0件	0円	23件	297,000円

本日のプログラム

<本日の卓話者紹介>

玉井委員

本日の卓話者、宮川慎也さんのご紹介をいたします。宮川さんは1996年から1998年まで2年間、ロータリー財団奨学生としてフランスのランス大学でフランス文学を専攻。現在は明治大学、日本女子大学、神奈川工科大学のフランス語の講師として活躍されています。ご静聴よろしくお願ひいたします。

<卓話「フランスへの留学経験」>

元ロータリー財団奨学生 宮川慎也様

ロータリアンの皆様のご後見、ご支援のおかげで国際

親善奨学生として、フランスのランスに留学できましたことに、お礼申し上げます。(以下、概要)

ランスは、シャンパンの産地、シャンパーニュ地方の中心都市。496年、フランク王国の国王クロヴィス1世がカトリック洗礼を受けた場所として脚光を浴びる。留学した年は洗礼1500周年にあたり、先のローマ法王パウロ二世が訪れ、ノートルダム大聖堂で記念のミサが行われた。14世紀～15世紀の百年戦争の折りに、ジャンヌ・ダルクがシャルル七世にランスで戴冠式を挙げさせたことでも有名。

ランスRCはとても温かく迎え入れてくださった。例会は夜7時から地元名産のシャンパンを楽しみながら約1時間で、月の最後の週は8時から深夜にかけて夕食会が開かれた。カウンセラーのパデさんは理工学部の先生。たびたび自宅へ食事へ招いてくださった。歯の詰め物が取れたときは、ロータリアンで歯科医のビュジーさんが無料で治療してくださった。私が務める卓話では、神奈川県や川崎市の地理や歴史をスライドを使って紹介。カワサキはオートバイ・メーカーの名称であり、川崎百合丘RCのシンボルの百合はフランス王家のシンボルでもあるので、親しみをもっていただけたようだ。研究しているモンテーニュや、日本の祭日などの話もした。ロータリー会の会合にも出席し、ロレーヌ地方のナンシーでの親睦パーティーで、日本人男性は女性と一緒に食事をしないという誤解があることを知って、お互いの文化・風俗を理解し合うという、国際親善奨学制度の目的の一つをよく理解できたと思う。

16世紀フランスの思想家モンテーニュを専攻したが、モンテーニュは何よりも寛容の精神を重んじ、異国の風俗習慣に興味を表した。ロータリーの理想、国際平和・国際親善の願いに通じるものがあるといえる。現在、学生たちにも留学体験を聞かせることがあり、輝きを増すその眼差しに出会うたびに、ロータリーの留学制度の有効性を実感している。

